



ラテン・アメリカ政経学会

第45回全国大会プログラム

2008年12月6日～7日

上智大学四谷キャンパス

12号館102教室

12月6日(土)

12:00~13:00 理事会 2号館 10階 1015a 会議室 (国際関係論副専攻会議室)

12:30~ 受付 12号館 1階 102 教室入口

13:00~13:10 開会の辞・事務連絡

13:10~15:25 研究報告 I 「ブラジルにおける労働、ブラジル人の労働」

司会：西島章次 (神戸大学)

①河合沙織 (神戸大学大学院) 「ブラジルにおける労働移動」

— 討論者：Edson Urano (上智大学)

②浜口伸明 (神戸大学) 「ブラジルの技術者たちの知識外部性」

— 討論者：小池洋一 (立命館大学)

③Edson Urano (上智大学) 「在日ブラジル人の組織化の現場から見られる労働市場の再編：ユニオンみえの事例を通じて」

— 討論者：山崎圭一 (横浜国立大学)

15:25~15:30 小休憩

15:30~17:45 研究報告 II 「ラテン・アメリカの未来を展望する」

司会：山崎圭一 (横浜国立大学)

①篠崎英樹 (神戸大学大学院) 「アルゼンチンにおける地方ボス研究：ペロニスタ党の事例を中心に」

— 討論者：浦部浩之 (獨協大学)

②松井謙一郎 (国際通貨研究所) 「中米地域の通貨制度の現状と今後の通貨制度選択に係る考察：ゲーム理論の枠組みを使った分析の試み」

— 討論者：田中 高 (中部大学)

③原田金一郎 (大阪経済法科大学) 「周辺部とグローバリゼーション」

— 討論者：石井陽一 (神奈川大学名誉教授)

18:00~20:00 懇親会 (11号館 7階第1・第5会議室)

12月7日(日)

8:50～ 受付

9:00～11:15 研究報告 III 「開発／発展をめぐる諸問題」

司会：安原 毅（南山大学）

①村上善道（東京大学大学院）「チリの非伝統農業輸出が生産構造に与える影響：“staple”か“enclave”か」

一討論者：谷 洋之（上智大学）

②Patricia Rosales Sierra “Reflexiones constitucionales sobre la evolución de la política agraria en México”

一討論者：石井 章（中部大学）

③咲川可央子（神戸大学大学院）「メキシコの地域間収束」

一討論者：久松佳彰（東洋大学）

11:15～12:15 会員総会

12:15～13:40 昼食 （事前予約された方に昼食をご用意いたします）

13:40～14:40 基調講演「我が国の EPA（経済連携協定）政策と中南米地域：メキシコならびにチリとの EPA 交渉を振り返って」

講師：渡邊頼純 氏（慶應義塾大学教授）

14:40～14:45 小休憩

14:45～16:50 シンポジウム

「グローバル化時代における日本とラテンアメリカの経済関係——自由貿易協定（FTA）を中心に」

コーディネータ 問題設定：今井圭子（上智大学）

報告：久松佳彰（東洋大学）「ラテンアメリカ諸国の自由貿易協定と日本：メキシコ」

道下仁朗（松山大学）「チリの FTA 戦略と日本・チリ EPA の課題」

西島章次（神戸大学）「ブラジル（メルコスール）の進展と日本との関係」

討論者：渡邊頼純（慶應義塾大学）

16:50～17:00 事務連絡・閉会の辞

※各研究報告は、報告 25 分、討論 10 分、質疑応答 10 分を基本と致します。

※シンポジウムは、問題設定 5 分、報告各 15 分、討論 10 分、以降、全体討論と致します。

ご案内

※上智大学四谷キャンパスへのアクセスについては、以下のホームページをご覧ください。

- ・アクセスガイド：http://www.sophia.ac.jp/J/sogo.nsf/Content/access_yotsuya
- ・キャンパスマップ：http://www.sophia.ac.jp/J/sogo.nsf/Content/campusmap_yotsuya

※12月7日（日）は北門が閉鎖されているため、正門からの入構をお願いいたします。

※大会会場は飲食が禁止されているため、湯茶のご用意ができません。同じ建物の地下1階にセブン・イレブンと談話スペースがありますので、適宜ご利用ください。